

中学校3年生の第1回進路希望調査 (10月1日)

Table with columns: 学校名, 学科名, 男女別, 募集定員, 志願者数, 倍率, 競争率, 前年度. Lists various schools and their enrollment data.

Table with columns: 学校名, 学科名, 男女別, 募集定員, 志願者数, 倍率, 競争率, 前年度. Continuation of school enrollment data.

Table with columns: 学校名, 学科名, 男女別, 募集定員, 志願者数, 倍率, 学力検査, 特別選抜. Includes '特別選抜' and '学力検査' columns.

教育 2014 とちぎ

公立と私立の中学3年生を対象とした第1回進路希望調査(10月1日現在)を発表した。県立全日制高校へ

中3進路希望第1回調査 県立全日制1.25倍

県教委は4日、県内の公立と私立の中学3年生を対象とした第1回進路希望調査(10月1日現在)を発表した。県立全日制高校への進学希望倍率は前年同期より0.01ポイント高い1.25倍だった。中3が受験する来年度入試から普通科と総合学科の学区が撤廃されるが、特定の高校へ希望が集まるなど大きな影響は見られなかった。

4日発表の中学3年生の第1回進路希望調査では、県内7学区の撤廃で特定高校へ入気が偏るような傾向がみられなかった。同日の会見で古沢利通県教育長は「今までも定員の25%の学区外の枠があり、



それを超えてしまう高校は多くなかった。今回も大きな動きは見られなかったが、5年、10年というスパンで動向を見て、検証していきたい」と話した。

学区撤廃に向けた議論でも、県教委は学区外の25%枠に加えて、保護者の多くが1時間以上の通学時間を望まないことや過去に学区を撤廃した都県でも「一極集中」が問題視されなかったことから、学区撤廃によって大きな影響はないと見込んでいた。

県教委は学区撤廃の影響を調べるため、市町立中学3年生を対象にした「普通科・総合学科への旧学区外からの進路希望調査」を併せて発表した。旧学区外からの希望者は普通科35校合わせた965人、総合学科6校で60人。それぞれ希望者計の11.6%(前年同期11.0%)、4.3%(同3.8%)で、前年同期と比べて微増にとどまった。

学区制度は戦後、高校教育の普及と機会均等などを目的に導入された。01年度の法改正で学区設置の規定がなくなるとして全国で撤廃が相次ぎ、関東では千葉県以外に学区制をやめている(堀井正明)

学区撤廃が減少したことが学区撤廃の議論を加速させた。2006年以降、統合によって普通科の高校が3校減った旧塩谷・南那須学区にある塩谷町立塩谷中の進路指導担当、桜沢利彦先生(28)は「25%枠がなくなり、生徒は主体的な進路選択がしやすくなった」と歓迎する。

Table with columns: 改正年, 学区数, 学区名, 学区外受け入れ率. Shows the number of districts and acceptance rates over time.

学区外受け入れ率は1964(昭和39)年に15%に改定